

今年も目指そう 1等比率90%以上!!

# 稲作管理情報 第1号

令和3年3月13日  
 いなば農業技術者協議会  
 ○事務局【JAいなば営農指導課】  
 小矢部市赤倉97 TEL67-8000  
 【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300  
 【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600  
 ○高岡農林振興センター 26-8480

## 高品質・良食味なメルヘン米生産は、**土づくり、健苗育成**から!

### 1 春の土づくり

土づくり資材や有機物の継続的な施用と深耕に取り組み、気象変動に強いメルヘン米生産に努めましょう。(下記資材のいずれかを施用しましょう)

#### ◎土づくり資材(ケイ酸・アルカリ)

資材名	施用量(10aあたり)
鉄入り元気 有機加里入りシリカロマン カリ入り元気	80kg 以上
ケイカル(粒) ハイタフ特号(粒)	100kg 以上
けい酸加里	40kg 以上

#### ◎有機物(春施用の場合)

堆肥の種類	施用量(10aあたり)	基肥減肥量(10aあたり)
発酵鶏ふん	75~100kg	窒素分で1~2kg
牛ふん堆肥	1t	窒素分で1~2kg
糞がら堆肥	2t	減肥不要

堆肥を春施用する場合は、土質や地力を考慮し、**基肥量を1~2割減肥**しましょう。

#### ◎深耕等による作土深の確保

作土が浅い(15cm未滿)と、根域が狭いため気象変動の影響を受けやすく、秋落ちもしやすくなります。秋耕しができなかった場合は、トラクターの耕耘速度を遅くしてロータリーをかけ、15cm以上の作土深を確保しましょう。



### 2 育苗計画 ~ 計画的な播種作業で健苗育成 ~

平地でのコシヒカリの田植えは5月15日を中心に設定し、  
 浸種は4月15日頃、播種は4月25日頃を目安に計画しましょう。

#### ◎計画作成例 [コシヒカリ(平地):5月15日田植えの育苗計画]

4月														5月																	
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
浸種(7~10日間程度)						種子消毒		催芽		陰干し		播種		出芽		搬出		育苗(播種日含めて20日間以内)													
・浸種水温は10~15℃を確保						エコホープDJ												※ハウス内の温度が25℃以下となるよう、換気を徹底													
・浸種積算温度は100℃以上を確保																		(緑化)				(硬化)				夜間も換気を行う				田植え	

#### 1) 育苗日数は20日間以内を目安としましょう。

育苗日数が長くなると、徒長苗や老化苗につながり、初期の強勢な分けつの発生が少なくなります。(図1)

#### 2) 田植日に合わせ播種日を設定しましょう。

播種日が早いと、田植時期を遅らせても老化苗となり、出穂日も早回ることから、遅植えの効果がありません。

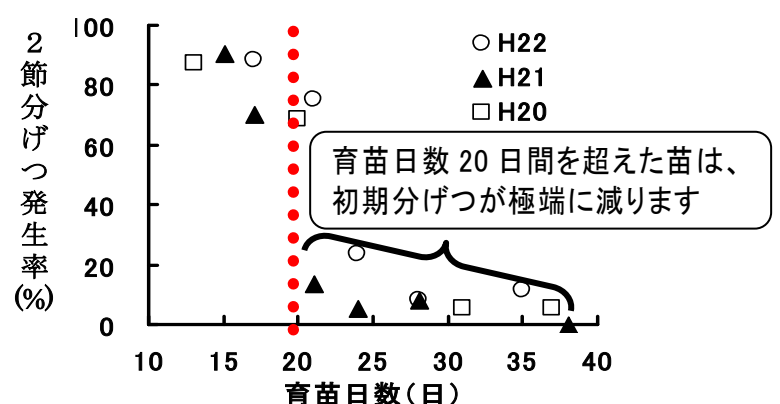


図1 育苗日数と初期分けつの関係

### 3 作付品種の構成を見直してみましょう

◎「てんたかく・てんこもり」は、①短稈で倒伏しにくい、②出穂後の高温に強く外観品質が良い、③食味が良い、ことから需要が増えています。作業分散を図り、適期の作業を行うために「てんたかく」や「てんこもり」の作付けを拡大しましょう。

裏面へ続く

## 4 昨年の反省点とその対策

### 1)「てんたかく(てんたかく81)」の倒伏について

- ・7月上旬頃から管内において倒伏が散見されました。
- ・倒伏の要因として、①多収目的とした施肥対応(チッソの過剰)、②茎数や穂数が多い、③草丈や稈長が長い、④局地的・短時間の降雨等が考えられます。

追肥する場合は、稲体の状況等を考慮して施用する

「メルヘン米」施肥設計例を参考に適正な施肥に努めましょう！

### 2)「コシヒカリ」の品質について

- ・昨年は、適切な中干しの実施をはじめとする栽培管理の徹底や登熟が良好だったことから、白未熟粒の発生は減少し、1等米比率は令和元年より向上しました。
- ・ただし、中干しが不十分な場合は、弱勢分けつが有効化し $m^2$ 着粒数が過剰となり、乳白粒等の白未熟粒の発現が多くなってしまいます。

田植4週間後からの中干し等で適正な着粒数(28,000粒/ $m^2$ )に誘導しよう！

### 3)カメムシ類による斑点米の発生について

- ・山間部やイネ科雑草の多発しているほ場等では、大型のクモヘリカメムシの発生が確認され、早生から晩生まで斑点米の発生が多くなりました。



クモヘリカメムシ

除草と防除の徹底でカメムシ類による斑点米の発生を防ごう！

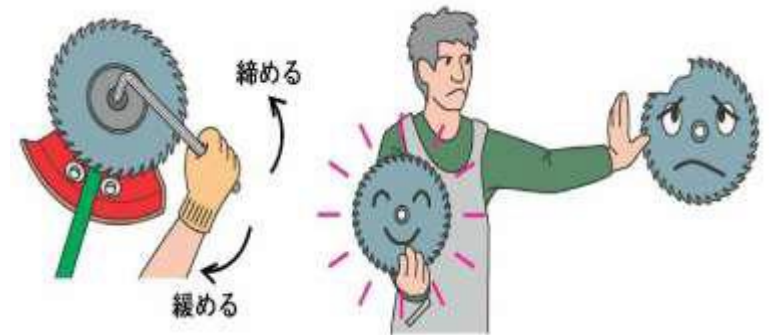
GAPとは「良い農業の実践(Good Agricultural Practice)」ということですが、富山県では「適正農業規範」と称しています。

## 5 農作業安全に取り組もう

◎本格的な農作業に入る前に、昨年の作業時に危険を感じた農作業(ヒヤリ)の把握や農場内の点検等を行い、事故を未然に防ぐとともに、GAPへの意識を高めましょう。

### 1)日常的な配慮

- ・余裕を持った無理のない作業計画を立てる
- ・日頃から健康管理に努め、体調が悪い時は無理をしない
- ・日頃から、機械や道具の点検・整備を行う
- ・作業に適した、防護装備を着用する



☆令和3年産米栽培がスタートします。

水稻栽培管理記録表の記入や農作業安全の確保など

GAPを実践し、安全で安心なメルヘン米の生産を行いましょう